

カードゲーム

「がんを学ぼう！メディカルテット」 の遊び方



カルテット（quartett：ドイツ語）とは、「4つ揃い」という意味です。ゲームのカルテットは、ドイツで遊ばれているトランプゲームの一種で、同じ色の絵札を4枚集める遊びです。



遊び方

- 4～6人で遊びましょう。
- カードは8色、各4枚の全32枚です。それとは別に、どの色にどのような内容が書かれているか、一覧にしたカードもあります。
- 同じ色のカード4枚を1組とし、できるだけ多くの組を作るゲームです。
- カードをよく切って、裏向きにして全員にすべてのカードを配ります。
- 最初のプレーヤーを決め、その人から順に時計回りで進めます。
- プレーヤーは自分以外の誰かを指名し、一覧表のカードを参考に自分の必要なカードを持っているか尋ねます。
（例：基礎知識の「身近な病気」を持っていますか？）
- 聞かれた人はそのカードを持っていた場合、渡さなければなりません。この時、嘘についてはいけません。



- カードをもらえた場合、そのプレイヤーは続けてプレイできます。自分が指名した相手がカードを持っていなかった場合は次の人に交代します。
- 4枚1組ができたら「カルテット」と言い、その4枚を自分の前に並べてください。
- 全員の手持ちのカードがなくなった時、もっとも多くの4枚組を自分の前に置いている人が勝ちです。

ゲーム後の振り返り

ゲームを行って終わりではなく、振り返りが大切です。これが知識の定着につながります。

まずカードを獲得した人が、カードに書かれていることを読み上げてみましょう。例えば、「基礎知識、身近な病気、日本人の2人に1人はがんにかかると言われています。」そしてその内容について、考えたことや感じたことをみんなで話し合ってみましょう。

さらに詳しく知りたいときは小冊子を活用してください。がんに対する知識や理解が深まります。



←遊び方の動画はこちら